

令和7年度 入学式 学長式辞

桜が満開の穏やかな春に、皆様を迎えることができました。ニチジョにも、陸上グラウンドの横に桜が咲いています。私は、十数年前に「秋入学」のシステムづくりに直接関わった経験がありますが、桜をみるたびに、やはり日本は「春入学」が似合っていると、実感しています。

今春、日本女子体育大学・体育学部そして大学院スポーツ科学研究科に入学した新入生の皆さん、入学おめでとうございます。数多くの大学の中から、本学を選択したことに感謝し、教職員を代表して歓迎します。

本学は、今年2025年に大学創立60周年を迎えました。その記念イベントを、秋の文化祭／健美祭と関連させて準備しています。大きな壁のボードにドライフラワーを刺していくフォトスポットなど、皆様が参加できる企画も多くあるので、楽しみにしてください。

大学60周年に先立ち、学園は2022年に創立100周年を迎え、記念の新アリーナが建築されました。このアリーナの7階／スカイホールからは、キレイな富士山をみることができます。皆さんは、素敵なニチジョのキャンパスを存分に活用して、コロナ禍が終わった大学生活を楽しんでほしいと思います。

さて、日本のスポーツ界を俯瞰してみると、多くの日本選手が世界で活躍しています。例えば、野球の大谷翔平選手だけでなく、サッカーのW杯出場、バレー・バスケットや卓球など多くの種目をあげることができます。本学に目をむけると、日本女性の初の五輪メダリスト／人見絹枝女史がいますし、最近では新体操のフェアリージャパンなど多くの選手が活躍しています。このような活躍は選手とコーチの努力による成果ですが、その活動をスポーツ科学が支えています。皆さんは、その理論と実践を本学で学ぶことができます。

皆さんが、本学で学ぶ体育学・スポーツ科学は、全世界の大学で学ぶ人文・社会・自然科学すべての研究分野を、「応用科学」として網羅しています。

例えば、運動生理学の観点から学ぶトレーニング科学、筋肉や骨をつくるインプットとしての栄養学、身体をどのように使うかという動きのバイオメカニクス、指導法を学ぶ教育学や運動学、競技会での精神集中のための心理学、スポーツイベントが社会に与える影響などを扱う社会学、あるいはスポーツやダンスの歴史など、私たちが取り組んでいる学問境域はとても広く、真の総合科学といえます。

本学では、この総合科学を学部で学ぶこと、そして大学院で深い研究を行うことができます。本学には、各分野の研究と教育のエキスパートがそろっているので、先生方から直接、授業を受けることを楽しみにしてください。先生方の研究論文や指導成果は本学HPにそれぞれ掲載されています。授業シラバスとともに、スマホなどで調べてみてください。

近年、SNS やチャット GPT・生成 AI などが急激に進化しています。このような情報化の発展は私たちの生活を便利にしてくれますが、マイナスの影響もあります。AI は知的教育にネガティブで、北欧などは学校で使用しなくなっています。また、社会が便利さを追求すると、身体運動が不足して不健康になります。つまり、これからは意図的に運動しなければ、動物としての機能を維持できなくなるので、皆さんが学ぶ「体育教育」は一層重要となります。

ニチジョの授業は、高校までの主要五科目を中心とした試験のための勉強ではなく、スポーツやダンスのパフォーマンス向上、あるいは指導力を磨くために勉強することになります。大学のキャンパス生活は自由度が大きく、皆さんが頑張れば「なりたい自分」になることができます。そのためには、まず目標を探して、友達やよい師をつくることです。ぜひ、実りある大学生活を「チーム・ニチジョ」として作り上げて欲しいと願っています。

最後に、ご臨席いただいた来賓の方々、保護者の皆さまそして教職員とともに、新入生の入学と進学を祝い、学長式辞といたします。

令和7年4月3日

日本女子体育大学
学長 深代 千之